



森の守護神

森ボラ 通信

第157号 2015年6月20日発行

NPO法人 **北海道森林ボランティア協会**

URL <http://www.shinrin-npo.info/>

札幌市豊平区平岸1条1丁目9-6 ラルズビル3F

Tel. (fax.): (011) 816 - 7010

E-mail: hshinrinv2002@nifty.com

■ トピックス

◆ 第27回森林レクリエーション協会地域美化活動コンクール

「農林水産大臣賞」を受賞して

6月5日（金）東京林野会館で林野庁長官から賞状を受け取り、受賞者を代表して酒井代表幹事が謝辞を述べましたので報告致します。

全国森林レクリエーション協会とはプロスキーヤーの三浦雄一郎氏が会長を務める組織で、森林のレクリエーション利用に関する調査研究・普及啓発、人材の育成等の事業を行い、森林インストラクター認定機関として我々が知っている処です。

今回の受賞理由は札幌市都市環境林の整備と環境教育の支援、支笏湖国有林等の台風被害地の森林再生プロジェクト等の

活動に

於いて1,680名の群を抜いた年間活動参加人数で地域に大きく貢献したことが挙げられ、これも森林管理署、北海道水産林務部、札幌市みどり推進部からのご推薦があったからと感謝致しますが、やはり会員各位の自然に対する思いと美しい森づくりの熱意が高く評価された結果だと思えます。（文・事務局）



◆ 不評な間伐地の10年後

ボラ通を追うと藻岩山南斜面の中腹国有林の間伐作業は2005・8・3に17名が参加して森林管理署の説明を受けて開始しました。そして2005・11・17に「掛り木整理完了・機材撤収」となっているが参加者は5名のみでした。間伐終了とは書いていないところがミソです。

今まで人気のない活動はたくさんありましたがこれほどの不人気はなかった気がします。急峻で命綱を張って歩く、木が太い、尾根筋の台風による危険な懸り木等々で特に女性陣から不評であった。

ただ一つここで培われた技術がチルホールによる懸り木処理で今でも生きています。10年後となる今年5月22日幌南の森の活動の帰り道に有料道路急カ



ープの駐車場に車を停めて10分ほど遊歩道を下り見に行きました。

2本ほど倒れ掛かった木はあるもきれいな林になっていました。まだ10年ですから大きく育った感じは受けませんが2004年の台風被害復旧とゆう意味では大変だったけどうまく育っている感じでした。(文・酒井)



■ 活動報告

◆ 澄川南小学校3年生澄川環境林で自然観察会

澄川南小学校では環境教育の一環として学校に隣接する札幌市澄川都市環境林で四季を通して森林環境教育を実施する事になりました。今回第一弾として6月3日に3年生48名が訪れ、澄川の森



の様子を知って貰いました。ヘルメットを被り、長そで、手袋、長靴そして水筒持参の子ども達は3名の先生の引率と協会員2名の案内で一時間半程の林内散策でした。

低学年の性か木への興味よりもササの葉で音を鳴らしたり、トグサやホウノキの大きな葉っぱ等を手のひら一杯に摘み、“これ何これ何”と質問が飛び交う中で、蟬の抜け殻には目を丸くして自然を楽しんでいました。

今後学年によって興味の対象が変化してくると思いなので、画一的な接し方ではなく状況を見据えて行動が出来るよう子ども達から学んで行きたいと思いました。(文・事務局)

◆ 澄川都市環境林のごみ清掃

毎年行われている「ごみ清掃作業」を5月15日(金)に参加者14名で行った。

今回は澄川環境林入口から南側の市道沿い約1.0kmを2班に分かれて、森林の景観を維持する目的で実施した。



急斜面から、大型ゴミを、ロープを使って引き上げるのは、いつもの森林活動とは違う精神的苦痛がありました。『自分たちの森をきれいにしよう』を合言葉に、参加者の気持ちを一つに頑張りました。



札幌市環境部のまとめでは、タイヤ19本、洗濯機2台、パソコン2台、テレビ8台、の他にポリ袋に1.6トンものごみを集めることが出来ました。参加者の皆様に感謝するとともに、市民のモラル向上が必要と痛感し、普段の市清掃作業担当者の苦勞を感じました。

清掃は、根気のいる作業で継続することが重要です。ごみに負けずに頑張ろう！

(文・樞棒、写真・樞棒、市環境部)



◆ 澄川の自然

「ドジョウがいる」と叫ぶ酒井さんの声がしました。澄川森林の中を流れる沢の木道橋の上から見つけた場面でした。下流から数えて3番目の橋でした。近寄ってデジカメでゲットした映像をご覧ください。なんとヤツメウナギの子供だったのです。体側に並んだ7ヶの鰓穴が確認できました。画像には2015年5月7日11時03分と記録されました。こんな所にどうしてヤツメウナギ? と思ってしまいます。



帰宅後調べてみました。日本に住むヤツメウナギはカワヤツメ、スナヤツメ、シベリアヤツメ、ミツバヤツメの4種類がある。石狩川はヤツメウナギが多く棲むことで知られており、江別では2001年まで「ヤツメ祭り」が行われていたそうです。

体型が似ていることから和名にウナギが使われていますが、生き物としては全くの別物なのです。さらに魚類でもないとのこと。口の写真をご覧ください。顎はなく円形です。これで川底の石などに吸い付いて流されないように位置を保ちます。さらに気持ち悪いことにこの口

で自分より大きな魚に吸い付いて吸血・吸液をします。これに寄生吸着された魚の映像がありました。右の写真をご覧ください。人間にもヒルのように吸着することがあるそうです。



澄川の沢では大きな魚を見たという記録はありません。このヤツメは多分スナヤツメではないかと思われます。スナヤツメはアンモシーテスと呼ばれる幼生時代から水中の泥底に潜り漏斗状の口で泥中の有機物を濾しとって食べるとのこと。そして成体になっても寄生行為はやらないで、何も



食わずにただ生殖するだけとのこと。これなら澄川で暮らすことが出来ると思われまます。

筆者のデジカメの映像ではスナヤツメと同定できる精度ではありませんので、ネットで探したスナヤツメの写真を添付しておきます。この日は親子森林教室「森しり隊」のガイド役の予行演習でシイタケの収穫をしながらの林内散策でした。また一つ澄川の自然の豊かさを証明する生き物を確認することになったことを嬉しく思う次第であります。(文・高野)



■今月の幹事会

出席者：市山・大窪・荻田・樞棒・加藤・清澤・酒井・佐野・高野・釣井・西野(協)・矢澤・和田

1. 森林レクリエーション地域美化活動コンクール農林水産大臣賞・札幌市長表敬訪問 (7/30)。
内輪の祝賀会は8月下旬に予定。
2. 7月、8月スケジュール・幹事会7月10日(金)
3. 親子森林教室(森しり隊)報告・森しり隊資料の配布と説明者心得12カ条の提示。澄川南小学校4年生澄川散策(6/15)会員4名で対応。
4. 澄川でヒグマの行動調査(札幌市みどりクマ対策調整課)・A-3の西側にカメラ、ヘアトラップ設置。期間は7月下旬から11月(予定)。
5. 森林・山林多面的発揮機能対策進行状況・澄川都市環境林で刈払機の講習会(7/21)受講者は10名程度(修了書発行)(講師は北海道森と緑の会から派遣)。
6. 野外活動の確認
 - ・リンゴ園の状況・天候恵まれ順調に進んでいる。
 - ・幌南の森の植栽地「つ」に67本植栽予定・ミズナラ、カツラ、ヤチダモを9/3に植栽。
 - ・中央区PTA協議会藻岩山散策の件(6/21)・酒井、高野、湯澤、西野(澄)が参加。
6月24・25日/烏柵舞:作業道下草刈り、人力地区整備(植栽作業)。
7月7・8日/コンサの森下草刈り。
7. 委員会報告 広報委員会(ふるさと樹木小冊子編纂) 業務委員会(7月活動日の確認)
助成委員会(札幌市さぽーとほっと基金の応募検討)
研修旅行参加状況(6/11日現在17名)・20名まで参加者を募る
8. その他
 - ・6/6に朝日新聞に土・日ボランティアしませんかの記事掲載・残念ながら反応無し。
 - ・5月年度会計報告。

■活動履歴

月日	行事・活動地	参加数	活動内容
5月17日(日)	澄川	9	エゾヤマザクラの苗 避難小屋周辺11本 樹木園5本 リュバンロール14本植栽
5月18日(火)	有明	10	2005年に植樹した桜大苗の添木が腐食してきたので交換
5月20日(水)	澄川(幌南の森)/リンゴ	7(2)/5	D地区の作業道維持管理:危険木、傾斜木、ツルの整理(幌南の森区画確認調査)/摘果
5月22日(金)	藻岩山幌南の森	7	「つ」区の下草刈りと67本の竹支柱をマーキング
5月23日(土)	リンゴ園	8	摘果
5月25日(月)	澄川/リンゴ園	1/3	駐車場及び管理地区に碎石、火山灰敷き設工事/摘果
5月27日(水)	澄川(藻岩山)	14(4)	澄南小の子どもの為の散策路再整備(藻岩山の下見)
5月28・29日	烏柵舞・水明郷	15	(烏)280本の広葉樹植栽・(水)雨列の補修、指標杭設置
6月1日(月)	リンゴ園	4	摘果
6月2日(火)	有明	9	作業道の下草刈り・植栽地整備
6月3日(水)	澄川/リンゴ園	10/2	澄川南小の3年生48名が訪問/摘果
6月4日(木)	リンゴ園	5	摘果
6月5日(金)	リンゴ園	5	摘果
6月6日(土)	澄川/リンゴ園	12/1	キャリコ道砂利敷き整備/摘果
6月9・10日	支笏湖CGC水明郷の森	18	刈払機班と手鎌班に別れて下草刈り完了